

ありがとうございます。

平成23年5月19日、
唯先生、ご主人さま、昌枝さん、私、(栄子)と外出していて...
いつになく唯先生は「もうしんどいわ、もうあかん、悪いけど早う帰ろう」と
「安楽寺」に帰るや否や、ベットに横になられました。

...まさにその時間、東明さんが事故に遭われていました。
お話を聞いて、その「奇跡」に鳥肌が立ちました。

私「東明さん、正面衝突だったんですか？」

東明さん「いいや、緩~いカーブを走ってな、対向車の4トントラックの
後輪部分に突っ込んでしまったんや。」

私「えー!後輪タイヤに突っ込むって、東明さん眠ってはったんですか？」

東明さん「それが分からへんのや。

僕の車は、その4トントラックの後輪タイヤをえぐり取って、
対向車線を越えて、側溝に落ちて止まったんや。
車の前の部分は大破して、エアバックが開いて...。
トラックは後輪タイヤが無くなって、
センターライン側へ横転してしまっただな。」

私「えーっ?!そんな大事故で東明さん、無傷なんて...。」

東明さん「駆けつけた警察官が、事故の状況を見て、あっこれは運転手死んでるって
思ったらしいわ、僕は運転席側から出られへんかったから...助手席側から
出てきたからびくりされたみたいや」

私「それは、そう思われますよね。それで相手の方のお怪我は?...

東明さん「それも打撲程度で済んでな、間もなく仕事に復帰されてるんや。
電話で聞いたら、もう明日から仕事に出ようと思ってるから
気にせんでいい、大丈夫やから。って言うてもろてな。
僕が突っ込んでいったんやから、100%こっちが悪いわけやから、
普通なら相手が激怒したり、もめたりしてもおかしくない状況やからな」

私「そうですよね。東明さんのお車は？」

東明さん「可哀相やけど 廃車しか仕方ない状態やった。
車体の後部は どないもなっていないから
家内が事故現場で後から車を見て「えっ?廃車にするの?」って
びっくりしとったけどな。
あの車とは、こんな別れ方はしたくなかったけれど、ごめんな。
よう耐えてくれたって 有り難う言うて、お香焚いてきたんや。」

その東明さんの車の始まりには、こんなエピソードがありました。
お仕事の流れて唯先生と東明さんが、昔からご存じの車屋さんに行かれた時のこと、店主の方から「頼まれていた車が来てますよ。」と...
ガレージには何台かの車が、その中の一台を指差され、「あっあの子や」と先生は
すぐ車に乗り込まれて「いい子やね。私も乗せて貰うから、よろしく頼みますね」と
ハンドルやボディを撫でられたそうです。(後日...お祝いも、交通安全のお守りも...)
(事故当時...丁度、交通安全の御祈願をされていた...との事です「3×7=21 日間の御祈願です」)

事故後、
唯先生が「あの子、頑張って耐えてくれたんやな」と東明さんと
話された事...「グループ接心」で 皆に お話し下さった時、
そこに居た方々の心にじんわりと 温かいものが広がりました。

私は
その事故当日の朝、東明さんから電話を頂いていて、
「今日のスケジュールは? 先生とお出かけかぁ～ あんたらはいいなぁ」という会話をしました。
もしかしたなら、あの電話が 最後であっても可笑しくない 程の重大事故、
「聖天さま」に護られた...お守り頂かれた「奇跡」の一日でした。
「聖天さま」が起こされる「奇跡」を 本当に身震いするほどに 目の当たりにした瞬間でした。

ありがとうございます。
栄子 拝

唯心からの追伸...です。
東明さんは長年(彼が学生時代から...)のお付き合い...の間柄...だけじゃなくこの度...
「名塩の聖天さま」としてこの地に越して来て...「聖天堂」そして、ただ今「本堂」等の
建築に関わって下さり...お世話になっている方...でもあります。
安楽寺がこの後も...^{かみ}神仏さまのご意志の通り...^{わたくし}唯に視えているもの...を「形」にする...
為の大切な相棒?...です。いえ片腕?かも...「しっかりしろ!?よな」...です。

23年7月吉日 唯心 拝